

徳山下松港のこれから

資源・エネルギー拠点港としての国際競争力強化を目的とした港湾整備の着手

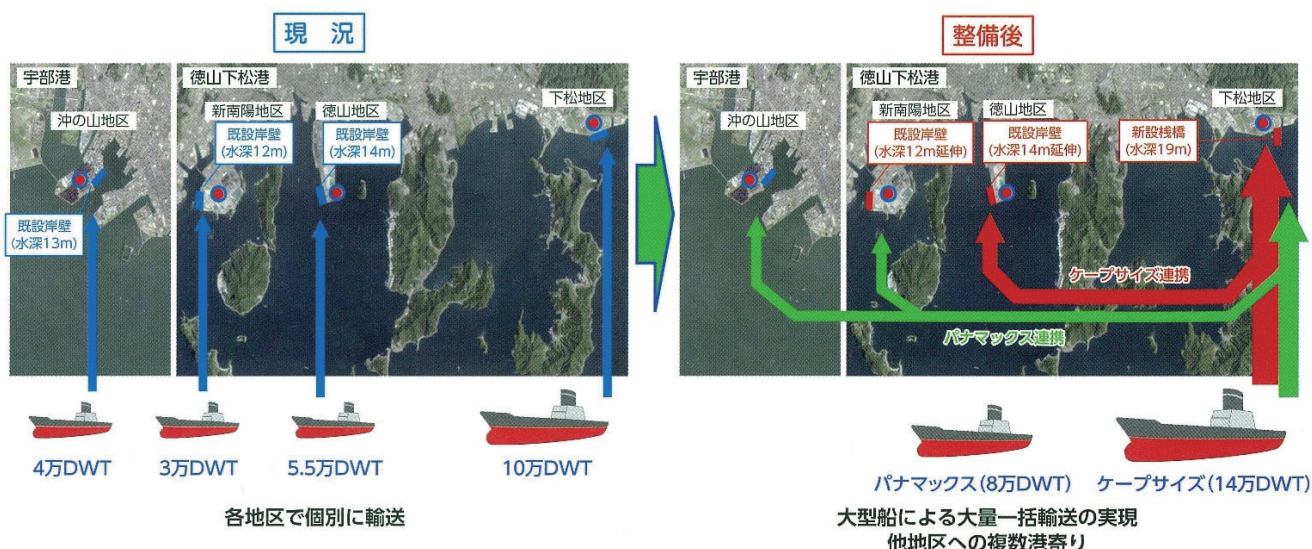
平成23(2011)年に国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港・宇部港が選定され、同年8月には、山口県が具体的な整備内容として、育成プログラムを国に提出しました。

平成26(2014)年には、徳山下松港の港湾計画の改訂を行い、平成28年度からは、新規プロジェクトとして「徳山下松港国際物流ターミナル整備事業」が採択され、西日本地域への石炭の安定的かつ安価な輸送を実現するため、大型石炭運搬船の入港に対応した国際物流ターミナルを整備しています。さらに、平成29(2017)年9月には、民間事業者による一体的な埠頭運営実現のため、バルク港湾においては全国初となる「やまぐち港湾運営株式会社」が設立され、同年12月に山口県が同社を港湾運営会社に指定しました。

西日本の石炭輸入拠点としての機能や効率的な運営体制が整ったことから、平成30(2018)年には、徳山下松港が特定貨物輸入拠点港湾(石炭)に指定され、効率的かつ安定的な輸送ネットワークの形成と海上輸送コスト削減による生産性の向上を図るための港湾整備が進められています。

また、徳山下松港港湾計画図にあるように、徳山地区には、-18m公共岸壁及び約70ha(公共埠頭、T9Ⅱ期+T10埋立地)の港湾・工業用地、新南陽地区には、-14m公共岸壁及び約60ha(公共埠頭+N7Ⅱ期埋立地)の港湾・緑地用地が位置付けられており、今後、更なる資源・エネルギーバルクの拠点港として物流機能の高度化が計画されています。

徳山下松港国際物流ターミナル整備事業イメージ



※DWT(載貨重量トン数)とは、航行中の船の積載量や安全に航行できる積載量を表す単位のことです。船自体の重さは含まれず、貨物や燃料、淡水、バラスト水、食料、乗客、乗員などの総重量を示しています。

パナマックス(8万DWT)、ケープサイズ(14万DWT)まで入港可能になります

【出典】国土交通省中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所「徳山下松港パンフレット」

カーボンニュートラルポート

2050年カーボンニュートラルの実現は、我が国をはじめ、世界的に大きな課題です。

国土交通省は、関係企業等と連携し、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラルポート（CNP）」を形成すべく、まずは全国6地域の港湾において、検討会を開催しました。

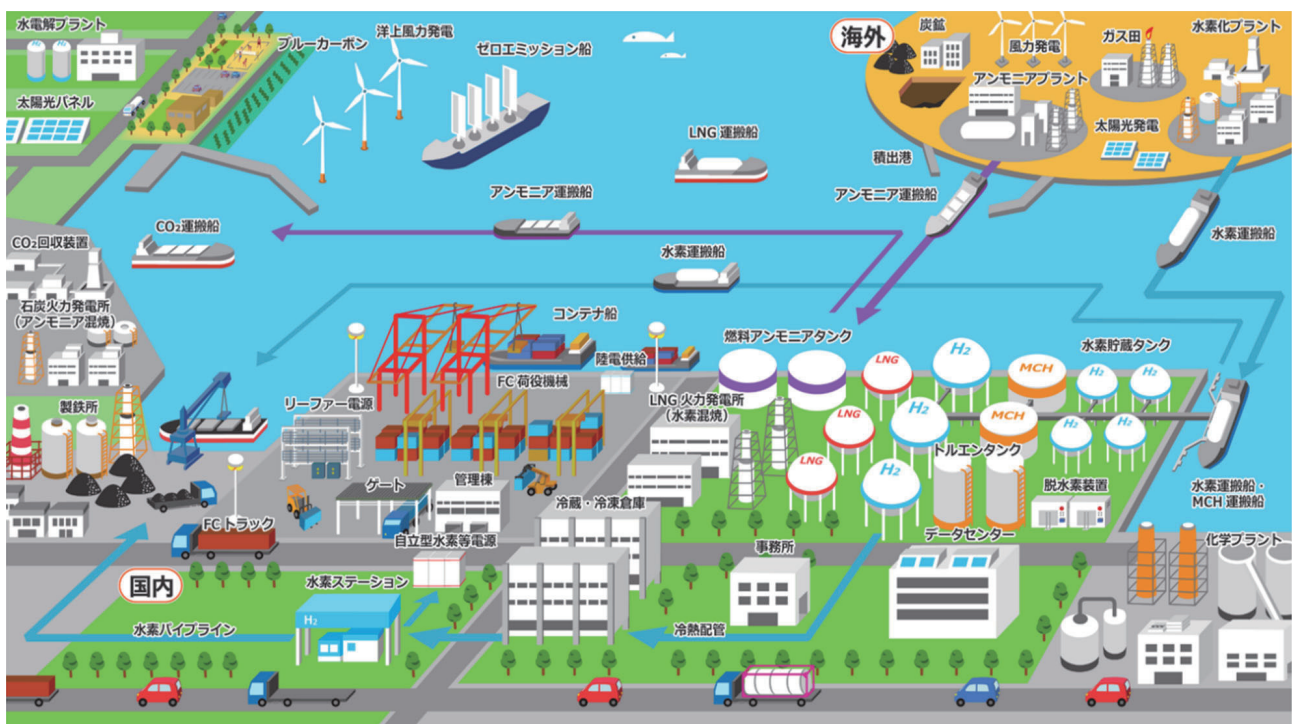
その先行した港湾の1つが徳山下松港です。

国土交通省中国地方整備局と山口県は、「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成に向け、有識者、経済団体、関係団体・企業、関係行政機関の参画を経て、令和3（2021）年2月に徳山下松港CNP検討会を立ち上げ、西日本エリアへのエネルギー供給拠点としての役割を担う徳山下松港において、将来的に需要の拡大が予想される水素、アンモニア等の新たなエネルギー資源の活用に向けた検討を進めています。



第1回徳山下松港カーボンニュートラルポート検討会の様子

カーボンニュートラルポート（CNP）のイメージ



【出典】国土交通省港湾局：「カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」策定マニュアル（初版）2021年12月

大島干潟（ブルーカーボン）

周南市の大島干潟は、徳山下松港の新南陽港区の航路・泊地の浚渫土砂を活用し造成されました。

造成後、アマモ場・コアマモ場が新たに形成されてきており、現在では、多様な生態系が構築されています。

アマモやコアマモなどの海藻類は、大気中のCO₂を光合成によって取り込み、CO₂を有機物として隔離・貯留するため、「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、新たなCO₂吸収源として注目されています。

大島干潟では、こうしたブルーカーボン生態系の保全活動について、国・周南市・地域・企業などが協働し、気候変動に関する世界的な課題である「2050年カーボンニュートラル」の実現や地域の活性化などに向けて取り組みを始めています。



大島干潟（計画平面図）



大島干潟（現況写真）



【資料提供】周南市

～豊かな藻場が形成～

徳山下松港 年表

西 暦	和 暦	沿 革
	江戸時代	「毛利の三白」と称される米・塩・紙の殖産政策により、海岸線一帯に開作事業が進展し、富田、徳山、下松各港は生產品の積出港として発展
1874	明治7年	徳山湾と笠戸湾を結ぶ堀川運河の完成
1884	17年	徳山に海運会社 共栄社の設立
1897	30年	徳山駅前に運輸合資会社の設立
		山陽鉄道 広島－徳山間開通
1898	31年	徳山－門司を結ぶ門徳汽船の就航
1904	37年	徳山に海軍煉炭製造所が進出
1916	大正5年	徳山に鈴木垂鉛製錬所(後に日本精蠟(株)が敷地取得)が進出
1917	6年	下松に日本汽船(株)笠戸造船所が設立
1918	7年	徳山に日本曹達工業(株)(現 (株)トクヤマ)、大阪鉄板製造(株)(現 日鉄ステンレス(株)山口製造所(周南エリア))が進出。下松に笠戸島船渠(株)(現 (株)新笠戸ドック)が設立
1921	10年	下松に(株)日立製作所が進出(日本汽船(株)笠戸造船所を譲受)
1922	11年	徳山港が特別輸出入港に指定(石油輸入高が全国第2位) ★徳山港開港
		港湾埋立を目的とし、徳山開港(株)の設立
		徳山税関支署の設置
1930	昭和5年	下松に日本石油(株)下松製油所(現 ENEOS(株)下松事業所)が進出
1934	9年	下松に東洋鋼鉄(株)が進出
1935	10年	新南陽に東洋曹達工業(株)(現 東ソー(株))が進出
1938	13年	海軍要港に指定され、開港閉鎖
1940	15年	光に海軍工廠が開庁
1946	21年	光に武田薬品工業(株)が進出
1948	23年	徳山下松港として開港指定(下松港が徳山港に編入)
1951	26年	重要港湾の指定。検疫港の指定。出入国港の指定
1955	30年	光に八幡製鐵(株)(現 日鉄ステンレス(株)山口製造所(光エリア))が進出
1957	32年	徳山に出光興産(株)が進出
1965	40年	特定重要港湾の指定。植物(木材)防疫港に指定
		徳山に日本ゼオン(株)が進出
1966	41年	光港が徳山下松港に編入し開港
1968	43年	徳山ポートビルの設置。周防灘フェリー(株)が就航
1969	44年	山口県周南港湾管理事務所の設置
1972	47年	徳山港湾合同庁舎の設置
1991	平成3年	徳山コンテナターミナルの開設
2000	12年	光井ヨットハーバーの完成
2003	15年	周南市誕生(徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の合併)
		総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)の指定
2004	16年	光市誕生(光市、大和町の合併)
2005	17年	周南大橋開通
2008	20年	臨海部産業エリア形成促進港の指定
2011	23年	国際拠点港湾の指定
		国際バルク戦略港湾に選定(品目：石炭)
2018	30年	徳山下松港が特定貨物輸入拠点港湾(石炭)に指定
2021	令和3年	徳山ポートビルの完成。山口県周南港湾管理事務所が移転
2022	4年	★徳山下松港開港100周年

徳山下松港 各種統計データ

項 目		数 量	単 位	割 合	備 考
◆入港船舶隻数		24,261	隻		全国 33 位 ※令和元年港湾統計山口県のみならず令和元年港湾取扱貨物量等の現況
◆入港船舶総トン数		40,267,629	総トン		全国 27 位 ※令和元年港湾統計山口県のみならず令和元年港湾取扱貨物量等の現況
◆乗降人員数		61,111	人		※令和元年港湾統計山口県のみならず令和元年港湾取扱貨物量等の現況
◆取扱貨物量（出入別）		50,785,472	トン	100.0%	全国 16 位 ※令和元年港湾統計山口県のみならず令和元年港湾取扱貨物量等の現況
外国貿易	輸出	3,384,577	トン	6.7%	
	輸入	16,048,232	トン	31.6%	
内国貿易	移出	16,322,593	トン	32.1%	
	移入	15,030,070	トン	29.6%	
◆取扱貨物量（品目別）		50,785,472	トン	100.0%	※令和元年港湾統計山口県のみならず令和元年港湾取扱貨物量等の現況
鉱産品	うち石炭取扱量	23,121,183	トン	45.5%	（11,959千トン）全国 1 位
	うち石炭輸入量				（ 8,166千トン）全国 3 位
	うち石炭移出量				（ 3,456千トン）全国 1 位
	うち原塩取扱量				（ 2,556千トン）全国 1 位
	うち原塩輸入量				（ 2,498千トン）全国 1 位
	うち石灰石移入量				（6,932千トン）全国 1 位
金属機械工業品	うち鉄道車両移出量	3,787,408	トン	7.5%	（59千トン）全国 1 位
	うち鋼材移入量				（1,384千トン）全国 6 位
化学工業品	うち化学薬品移出量	20,235,918	トン	39.8%	（3,713千トン）全国 1 位
	うち化学薬品輸出货量				（1,380千トン）全国 4 位
	うちセメント移出量				（3,884千トン）全国 2 位
	うち重油移入量				（501千トン）全国 9 位
その他		3,640,963	トン	7.2%	
◆産業別就業者数		113,966	人	100.0%	周南市、下松市、光市の合計数 ※平成 27 年国勢調査
建設業		11,611	人	10.2%	
製造業		23,828	人	20.9%	
運輸業、郵便業		6,397	人	5.6%	
卸売業、小売業		17,643	人	15.5%	
宿泊業、飲食サービス業		5,522	人	4.8%	
医療、福祉		14,830	人	13.0%	
その他（上記以外の分類）		34,135	人	30.0%	
◆製造品出荷額等		655,347,881	万円		山口県全体 ※令和元年山口県の工業（2020 工業統計調査結果）
周南市		128,011,931	万円	19.5%	
下松市		36,508,650	万円	5.6%	
光市		61,693,265	万円	9.4%	
※3市合計		226,213,846	万円	34.5%	3市で県全体の約3割を占める

徳山下松港開港100周年記念事業実行委員会

設立年月日	令和3年4月22日			
目的	令和4年2月10日に徳山下松港が開港100周年を迎えることを記念し、徳山下松港に関わる様々な団体で構成される組織を設置し、市民の港や海への愛着や誇りを醸成するため諸行事を実施する。			
構成員	役職	団体名	団体役職	氏名
	会長	周南市	市長	藤井 律子
	副会長	下松市	市長	國井 益雄
		光市	市長	市川 熙
	委員	国土交通省中国運輸局山口運輸支局	次長	梅田 修一
		国土交通省中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所	所長	赤間 康一
		財務省門司税関徳山税関支署	支署長	中村 治
		海上保安庁徳山海上保安部	部長	椎木 紀文
		自衛隊山口地方協力本部 周南地域事務所	所長	河村 公平
		山口県周南港湾管理事務所	所長	重本 和生
		周南市産業振興部	部長	山本 敏明
		下松市経済部	部長	鬼武 輝明
		光市経済部	部長	芳岡 統
		周南市教育委員会教育部	部長	山本 次雄
		下松市教育委員会	教育部長	河村 貴子
		光市教育委員会	教育部長	升 克頼
		徳山港振興会	会長	山田 多加司
		中国地方港運協会徳山下松支部	支部長	佐伯 哲治
		山口県内航海運組合	理事長	重枝 浩二
		山口県漁業協同組合周南統括支店	統括支店長	藤村 和義
		徳山商工会議所	会頭	宮本 治郎
		新南陽商工会議所	会頭	佐伯 哲治
		熊毛町商工会	会長	片山 秀則
		鹿野町商工会	会長	野原 博美
	都濃商工会	会長	國兼 馨	
	下松商工会議所	会頭	弘中 伸寛	
	光商工会議所	会頭	藤井 勝	
大和商工会	会長	清弘 俊幸		
周南青年会議所	理事長	木本 安一		
監事	山口銀行	副支店長	伯野 聖二	
	西京銀行	次長	松尾 直晃	

協賛企業等

徳山下松港開港 100 周年記念事業を実施するにあたり、徳山下松港に関わる多くの企業・団体・個人の皆さまより、多額のご協賛をいただき事業を実施しています。

【協賛企業名・個人名】（物品寄贈等含む）

出光興産株式会社、東ソー株式会社、株式会社トクヤマ、日本ゼオン株式会社、日本精蠟株式会社、日鉄ステンレス株式会社、日本化学工業株式会社、五洋建設株式会社、徳山商工会議所、山口県漁業協同組合、徳山ロータリークラブ、あおみ建設株式会社、赤坂印刷株式会社、旭石油株式会社、池田興業株式会社、株式会社イコース、イシン株式会社、株式会社出光プラントック徳山、井森工業株式会社、宇部工業株式会社、ENEOS株式会社、江村建設株式会社、大津島巡航株式会社、株式会社大本組、オカデン、奥西コンサルタント株式会社、株式会社金近回漕店、株式会社上組、株式会社ガンシン、株式会社岸田鉄工、木村海事事務所、岐陽船主会、株式会社京瀧、下松中央ライオンズクラブ、株式会社九内、熊谷海事工業株式会社、グリーン SHIPPING 株式会社、株式会社ケイ・アール・ワイ・サービスステーション、港友会、幸陽、光和電業株式会社、国際ソロプチミスト徳山、小林はり灸センター、株式会社西京銀行、貞兼運輸株式会社、株式会社幸技研、山九株式会社、株式会社シーゲートコーポレーション、株式会社シマヤ、周南興産有限会社、周南港湾運輸有限会社、周南市水泳連盟、周南西ロータリークラブ、周南バルクターミナル株式会社、有限会社しゅうなんポートサービス、周南マリコム株式会社、周南ライオンズクラブ、女声合唱団 I あい、株式会社新笠戸ドック、新南陽商工会議所、新南陽鉄工団地協同組合、新南陽ライオンズクラブ、新南陽若山ライオンズクラブ、一般財団法人新日本検定協会、新吉産業株式会社、杉村テント株式会社、株式会社ステンレス光、株式会社高須組、高橋商店、株式会社異設計コンサルタント、CHACHADO、チューケン株式会社、中国地方港運協会、中国電力ネットワーク株式会社、都濃商工会、東亜建設工業株式会社、東ソー物流株式会社、東洋建設株式会社、東洋鋼鉄株式会社、株式会社徳本工務店、トクヤマ海陸運送株式会社、有限会社徳山機工、徳山汽船株式会社、徳山原石輸送株式会社、徳山港振興会、徳山コンテナターミナル運営協議会、徳山セントラルロータリークラブ、徳山船用品株式会社、徳山地区魚食普及推進協議会、徳山中央ライオンズクラブ、徳山通船株式会社、徳山東ロータリークラブ、株式会社徳山ビルサービス、徳山ふくセンター株式会社、徳山ライオンズクラブ、内海曳船株式会社、株式会社ナカノ、株式会社日陸、日鉄物流八幡株式会社、日本栄船株式会社、一般社団法人日本海事検定協会、日本海事興業株式会社、一般社団法人日本貨物検数協会、株式会社日本技術サービス、有限会社ヌーボー倶楽部、株式会社沼田ヤンマー商会、有限会社パナックくにかね、稗田商事株式会社、光ライオンズクラブ、光ロータリークラブ、株式会社日立製作所、富士高圧フレキシブルホース株式会社、株式会社不動テトラ、株式会社ホテルサンルート徳山、株式会社本間組、御影建設工業株式会社、みらい建設工業株式会社、村上建設工業株式会社、株式会社やはら、山口朝日放送株式会社、株式会社山口銀行、一般財団法人山口県環境保全事業団、山口県港湾建設協会、山口県内航海運組合、株式会社山崎金属商会、大和商工会、洋林建設株式会社、ラウンジバーランタン、りんかい日産建設株式会社、若築建設株式会社、荒美雅丈、伊藤雄一、上野貴史、小田憲隆、川口洋司、白木一人、末永和宏、高瀬文三郎、田中真次、徳留功一、徳本信治、富永将介、野村輝夫、野村正純、広崎博之、弘中基之、福重孝浩、福本英生、藤原亮子、御手洗泉、山田英昭、山本次雄、山本敏明（順不同・敬称略）

「徳山下松港開港100周年記念誌」

発行 徳山下松港開港100周年記念事業実行委員会
 (事務局 周南市産業振興部商工振興課)

発行責任者 徳山下松港開港100周年記念事業実行委員会
 会長 藤井 律子

表紙イラスト 徳原望(周南あけぼの園)作
 国際ソロプチミスト徳山寄贈

制作協力 川上浩史、中村孝

印刷・製本 株式会社アドワン

発行日 令和4年7月18日



開港記念碑(昭和2年3月設置)

所在地: 周南市築港町 2-14



徳山下松港開港100周年記念広場石碑

(令和4年2月設置)

所在地: 周南市築港町 9-1

※徳山港振興会、中国地方港運協会徳山下松支部、山口県内航海運組合、徳山コンテナターミナル運営協議会より寄贈

